

Creativity Development

Student voluntary school for FD-a round table-style discussion with volunteer leaders of local community

Makoto Ohashi · PROFESSOR / INSTITUTE OF SOCIO-ARTS AND SCIENCES, Mayumi YAMAMOTO · PROFESSOR / INSTITUTE OF SOCIO-ARTS AND SCIENCES, Minoru Watanabe · ASSOCIATE PROFESSOR / INSTITUTE OF SOCIO-ARTS AND SCIENCES

Masako Mitsunaga · 学術研究員 / CENTER FOR GENERAL EDUCATION

2 units 前期 水 7・8

(平成 19 年度以前の授業科目: 『人間と生命』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『総合科目』)

Target) 地域のボランティアリーダーたちと親しく交流するなかで、自分のやりたいを発見したり、取り組んだりする基盤を形成します。徳島という地域社会が抱えている問題についても認識を高めます。また、学校支援活動、留学生や海外の大学生との交流などの課外活動に積極的に参加することにより、主体的な学習についての理解を深めます。

Outline) 大学の 4 年間は、自分のやりたいことを見つけ、取り組む良い機会です。本授業では、ボランティア活動に目を向け、徳島における様々な取り組みを紹介し、やりたいことを見つけ、実際の活動にまで導いてゆきます。本授業では、地域社会の中ですでに様々なジャンルで活動しているもっともアクティブなボランティアリーダーを招き、活動内容や取り組んだ動機などを語ってもらいます。その上で、社会人受講生も含めて、みなで地域の問題や課題に取り組むにはどうしたら良いかを考えます。また、学校教育支援活動や、留学生の日本語サポート、遠隔ビデオ会議による海外の大学生との交流を通じて、課外活動参加による自主性と幅広い視野を育成することを目指します。

Keyword) ボランティアリーダー、地域社会、社会人との対話、活動計画、ボランティアの友達の輪、自给力、留学生への日本語サポート、海外の大学生との交流、遠隔ビデオ会議

Relational Lecture) “Creativity Development/Cross-cultural communications for FD -What is the global society?”(0.5), “Creativity Development/What should we learn in the exchange program with foreign countries” (0.5), “Creativity Development/Cross-cultural communications for FD-a educational program for global society-”(0.5), “Creativity Development/Student voluntary school for FD- innovation for sustainable development-” (0.5)

Goal)

1. ①地域のボランティアリーダーたちと積極的に語り合い、交流できる。
2. ②地域社会の問題や課題を知り、その解決法を考える。
3. ③ボランティア活動を通じて、留学生と交流する。
4. ④ボランティア活動を通じて、海外の大学生と交流する。

5. ⑤自分のやりたいこと、取り組みたいことについて目標ができる。

Schedule)

1. オリエンテーションとアイスブレイキング
2. 地域社会とボランティア①
3. 地域社会とボランティア②
4. 地域社会とボランティア③
5. 学習支援ボランティア (山本)
6. 地域社会とボランティア④
7. 地域社会とボランティア⑤
8. 地域社会とボランティア⑥
9. 地域社会とボランティア⑦
10. 地域社会とボランティア⑧
11. 地域社会とボランティア⑨
12. 地域社会とボランティア⑩
13. 地域社会とボランティア⑪
14. 地域社会とボランティア⑫
15. 地域社会とボランティア⑬
16. 総括授業

Textbook) 資料はその都度配布します。

Reference) 必要に応じて配布します。

Evaluation Criteria) 成績はおおむね次の基準によります。①毎回のミニレポート 40% ②授業に関連する課外活動参加への積極性とこれに関わる期末レポート 60%

Re-evaluation) 再試験は行いません。

Message) ①グループディスカッションでは意見や感想を積極的に出してください。みんなでブレインストーミングができるのが理想です。②授業外の時間をやりくりして、ボランティア活動に参加してください。③留学生のサポートや、海外で日本語を学ぶ学生に対する日本語サポートボランティア活動へ積極的に参加して下さい。

Webpage > <http://www.ias.tokushima-u.ac.jp/life/GP/index.html>

Contents > <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220803>

Contact (Office-Hour, Room, E-mail)

⇒ Ohashi (656-7261, ohashi@ias.tokushima-u.ac.jp) [MAIL](#)

⇒ YAMAMOTO (3s06, +81-88-656-7192, yamamoto@ias.tokushima-u.ac.jp)
[MAIL](#)

Note >

- ◇ ①ボランティアリーダーの都合により、当日ゲストの選定・順序は変更する場合があります。
- ◇ ②現場見学・実習には積極的に参加してください。
- ◇ ③社会人受講生の方は、事前アンケートを提出していただきます。定員オーバーの場合は、アンケート内容等を勘案して選抜させていただきます。